

チェンジ・ブラインド

大森ゼミ

2 1 3 1 1 2 4 0 野上英樹

2 1 3 1 1 0 2 3 井田匡輔

チェンジ・ブラインドネスとは？

- 『チェンジ・ブラインドネス』とは、私たちが日ごろ見ている風景の中できちんと認識してるのは、ごく一部であり、他のものに関してはあいまいな処理しか行っていないというものである。
- そして、今回はこの考え方が本当に現れるのか実験を行った。

実験方法

- ある1つの点だけ違う2枚の写真を用意する。
- この2枚の写真を0.5秒表示し、0.1秒の黒画像をはさんだ後、異なる写真を表示する。それを繰り返す。
- そして、間違いを発見するまでの時間を計測する。
- 検証は5種類の写真で行った。

実験結果より

- 間違いを発見するまでにかかる時間に個人差が大きく出るのは、注意を向けている箇所が個人ごとに違うからである。
- この結果より、上記のことがわかり私たちの認識している風景は正確に処理されていないか、されていたとしても0.1という短い時間で忘れられるのである。

まとめ

- チェンジ・ブラインドネスの実験により、私たちがいかに普段の風景を流し見しているかがわかる。
- 正確な情報ほど認識はするが、それ以外の情報に関しては一瞬で忘れてしまう程度にしか認識されないのである。